



オーガニック栽培

サステナビリティを目指し多様化の時代に
 相応しい生活機能分類に応じた就労のかたち
 を創り出す目的で

ORGANIC CLUB

を発足いたしました。



AROUND THE WORLD



想いは世界 を変える

ORGANIC CLUB
 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3

幕張テクノガーデンC B棟3階MBP

NGOシェイクハンド『ICF CLUB』事務局内

0120-307-741

FAX 043-372-1702

ORGANIC CLUB



ORGANIC OLIVE LEAF CLUB

ミッション

サステナビリティの実現
 生活機能に応じた
 社会生活と就労に向け
 次世代植物工場の実現へ
 子ども達のインターシップ教育





次世代植物工場で障がい者を雇用する可能性は？

障がい者の雇用の仕方

多様な職務：

植物工場には栽培、品質管理、データ分析、物流など多様な業務があります。生活機能に応じて適切な業務を選択できるため雇用の幅が広がります。

柔軟な勤務形態：

植物工場では、勤務時間や作業内容を柔軟に調整できる場合が多く、障がい者が自分のペースで働ける可能性があります。

社会的責任：

企業が障がい者雇用を推進することで、サステナビリティとして環境・社会・経済における社会貢献の一環としての企業イメージの向上にもつながります。

次世代植物工場で栽培される主な植物

これらの植物は、効率的な栽培方法や環境制御が行えるため、年間を通して安定した生産が可能です。消費者のニーズに応じて、多様な品種や栽培法を取り入れることができるため、今後の植物工場やハウス栽培の発展が期待されます。



葉物野菜：

レタスは、特に水耕栽培が、適しており、安定した供給が可能です。

ハーブは香りが強く、ミント・ローズマリーなど多様なハーブが料理に広く利用されています。

果実：

イチゴは高い需要があり栽培環境をコントロールすることで品質の高い果実が得られます。

果菜類：

トマト・ピーマン・ナスなど、すでに植物工場での栽培が行われています。

一部の植物工場では、小麦や米の栽培が試みられていますが、葉物野菜や果実が、主流です。



レタス



いちご



トマト